

## 気になる デッチ上げ その後

### 組合員のみなさん 国労・ユニオン組合員のみなさん

東海労東二運分会書記長が「酒気帯び」をデッチ上げられて、間もなく3ヶ月です。そして不当処分を通告され、かつその「発令通知書」を差し替えられてから2ヶ月が過ぎました。その間、大震災や原発被害が気になっていましたが、会社の異常な労務管理は止まりませんでした。

例えば、お客様のご案内のために、ドア扱いが13秒遅れたことを理由にした「再教育」や「勤務時間中の私物携帯電話使用」を理由にした時系列等報告書作成の強要と「業務指示違反」が最近の、典型的で異常な労務管理としてあります。

その様ななかで会社が気にしているのは、デッチ上げ「酒気帯び」と不当処分に対する、東海労の動きのようです。詳しくは差し控えますが、この2ヶ月あまりの間に、デッチ上げの張本人である「管理者」達の言動がそれを証明しています。震災以降の東海労の動きがサッパリ分らないのだろうか、東海労組合員に「探り」を入れてきたり、これまでは想像も出来ないように態度が変わったり、があります。

何か心配事でもあるのでしょうか？ 私たち東海労の方が心配になってしまいます。私たち東海労は、これまで通りデッチ上げ「酒気帯び」と不当処分を許さない闘いを継続していきます。

その根拠は何よりも、私たちが解明を求める業務委員会や処分撤回を求める苦情処理会議で本社・幹鉄事はシドロモドロの回答しか出来ないところに、そのデッチ上げ性と、不当性がハッキリと出ているからです。そして、デッチ上げ「酒気帯び」と不当処分の元をつくったのが、東京第二運輸所の「管理者」だということが、益々ハッキリしたからです。

### 国労・ユニオン組合員のみなさん

労務管理は 東海労だけに掛けられているのではありません  
組合は関係なしに声を出して 働きやすい職場 にしましょう